



みんなの けんこう ガイド

※各保健センターへのお問い合わせは午前8時30分からです。

●乳幼児健康診査・健康相談

【受付時間】 ☆印…午前9時30分～10時、★印…午後1時～1時30分

※対象者には通知します。

内容	対象となる人（お住まいの地域）	日程	会場
★3～4か月児健康診査	平成21年2月生まれ（本庄地域）	6月24日(水)	本庄市保健センター
	平成21年2月～3月生まれ（児玉地域）	7月23日(水)	児玉保健センター
☆9～10か月児健康相談	平成20年8月生まれ（市内全域）	6月24日(水)	本庄市保健センター
★1歳6か月児健康診査	平成19年11月生まれ（本庄地域）	6月22日(月)	本庄市保健センター
	平成19年11月～12月生まれ（児玉地域）	7月22日(水)	児玉保健センター
☆2歳児健康相談	平成19年5月生まれ（市内全域）	6月23日(火)	本庄市保健センター
★3歳児健康診査	平成18年5月生まれ（本庄地域）	6月23日(火)	本庄市保健センター
	平成18年5月～6月生まれ（児玉地域）	7月21日(火)	児玉保健センター

●育児相談・学級

【会場】 児玉保健センター

※電話による育児相談は随時受け付けています。各相談・教室の予約は、本庄市保健センター（☎2003）へ。

内容	対象となる人	日時	その他	
すくすく相談 （育児・栄養相談、計測）	相談・計測希望の人	6月26日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
母乳相談	母乳のことで相談がある人	6月26日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
カンガルー広場 （情報交換・友達づくりの場）	0～2歳児とその保護者	6月15日(月) 午前9時30分～正午	おやつを持ち込みはできません。	
おや親タマゴ	マタニティ エクササイズ	これからママになる人 ※会場：本庄市保健センター	6月10日(水)・7月8日(水) 午前10時～正午	先着20組。事前に電話予約してください。
	母乳・沐浴	これからママ・パパになる人	7月11日(土) 午前9時30分～正午	先着20組。事前に電話予約してください。

ください。（お持ちでない人は保健センターまで）



妊婦健診の公費助成の 拡大範囲について

4月から、妊婦健康診査の公費助成が14回に拡大されました。

妊娠中は身体にいろいろな変化が起こり、母体の負担が大きくなっています。このため、妊婦健診はとても重要です。医療機関などで定期的に健診を受けて、健やかな妊娠・出産を迎えられるようにしましょう。

なお、妊婦健診の公費負担となる範囲は、受診券及び助成券に記載されている基本的な項目になります。その他の検査は自己負担が生じます。

また、超音波検査受診票は原則として、妊娠28週以降に健診といっしょにご利用ください。



県内の医療機関や 薬局の情報を知りたいときは

埼玉県では、場所や診療科目などの条件を入力すると、県内の約10,000か所の医療機関や薬局を検索できる『埼玉県医療機能情報提供システム』をホームページで公開しています。地図を表示して所在地を確認することもできますので、ぜひご活用ください。

《埼玉県医療機能情報提供システム》

<http://www.iryu-kensaku.jp/saitama/>

*詳しくは埼玉県医療整備課(☎048-830-3541)へお問い合わせください。



パソコンで調べて



医療機関へ



薬局へ



あなたもそろそろ健康づくりを始めませんか。

今回は、『メタボリックシンドローム予防』をテーマに開催します。

開催日程

日時	内容
7月7日(火) 午後1時30分～3時	医師からの講話
7月14日(火)・21日(火) 午前9時30分～11時30分	メタボを防ぐ食事と運動(講義と実技)
8月4日(火) 午前9時30分～11時30分	個別の健康相談
8月18日(火) 午前9時30分～11時30分	まとめ

会場

本庄市保健センター

対象

おおむね30歳以上の市内在住者

定員

20人(多数の場合抽選)

申込

7月2日(木)までに本庄市保健センターへ

医療メモ

本庄市児玉郡医師会

『看護師不足問題』を考える

を考える

ここ一年来、マスコミ等で医師不足による市民病院の閉鎖・縮小等が取り上げられています。ご存じない方が多いのではないかと思われます。

毎年5万人が看護師の資格を取得していますが、そのうちの大多数が就職先として大都市及び大病院に流れる、という地域間格差が医師偏在問題と同じように生じています。特に、本庄市及び児玉郡地域では救急医療を担う看護師の不足が深刻で、そのため当医師会でも、看護師資格を持ちながら現在就業していない「潜在看護師」の掘り起こし等の事業を推進していますが、それだけで看護師不足を解消するのは難しいのが現状です。

本来、公的側面が強い看護師養成事業を、当医師会では地域医療を守る看護師は地域で養成することが大切、との考えに立って昭和28年に本庄准看護学校を、平成12年には

本庄児玉看護専門学校を開設し、財政的支援をしながら運営しています。

企業の内定取り消しが騒がれているこの経済状況の中、看護師は就職率100%と言っても過言ではありません。そのうえ、当医師会が運営している2校では、保護者の経済的負担を軽減する目的で、本庄児玉管内の医療機関の協力を得て、授業料等を奨学金として貸与する制度も設けています。

みなさんも地域医療の将来を担う看護師という職業を、将来の選択肢のひとつに加えていただければと思います。詳しくは各学校にお問い合わせください。

○本庄准看護学校

☎231041

○本庄児玉看護専門学校

☎352077

